

学校水泳研究会 2014

問題提起

水泳の授業

ほんとうにおさえるべきポイントは何か？

徳島市新町小学校
篠原 健真

学習指導要領 (水泳) 抜粋

	学年	内容	
小学校	1・2学年	水遊び	水に慣れる遊び 水のかけあい, 電車ごっこ, リレー遊び 浮く・もぐる遊び 壁や補助具につかまって浮く バブリングやボビング
	3・4学年	浮く・泳ぐ運動	浮く運動 補助具などを使う浮き, 使わない浮き け伸び, 伏し浮き, 背浮き, くらげ浮き 泳ぐ運動 補助具を使ってクロールや平泳ぎの呼吸練習 呼吸をしながらの初歩的な泳ぎ ばた足, かえる足 連続ボビングなど
	5・6学年	水泳	クロールで長く(25～50m程度)続けて泳ぐ 平泳ぎで長く(25～50m程度)続けて泳ぐ
中学校	1・2学年	水泳	クロール (25～50m程度) 平泳ぎ(50～100m程度) 背泳ぎ (25～50m程度) バタフライ(25～50m程度) スタート及びターン
	3学年	水泳	クロール (50～200m程度) 平泳ぎ(50～200m程度) 背泳ぎ (25～50m程度) バタフライ(25～50m程度) スタート及びターン 複数の泳ぎ リレー

学習指導要領 (水泳) 抜粋より

泳法の獲得重視の内容になっていることから、生涯スポーツとしての水泳を普及、発展、定着させることができると言える。

泳法の獲得が最大の目的なのだろうか？

ほんとうにおさえるべき内容は？

- ❖ 4泳法の獲得？
- ❖ 速く、または長く効率よく泳げること？
- ❖ 水泳の能力を高めるために練習を工夫すること？
- ❖ リレーなどをして、水泳を楽しむこと？
- ❖ プールでのきまりを守れるようにすること？
- ❖ 命を守る水泳術を身につけること？

学校水泳研究会 2014

授業風景(沈む)



学校水泳研究会 2014

授業風景(だるま浮き)



学校水泳研究会 2014

授業風景(くらげ浮き)



学校水泳研究会 2014

授業風景(水中宝さがし)



学校水泳研究会 2014

授業風景(ふし浮き)



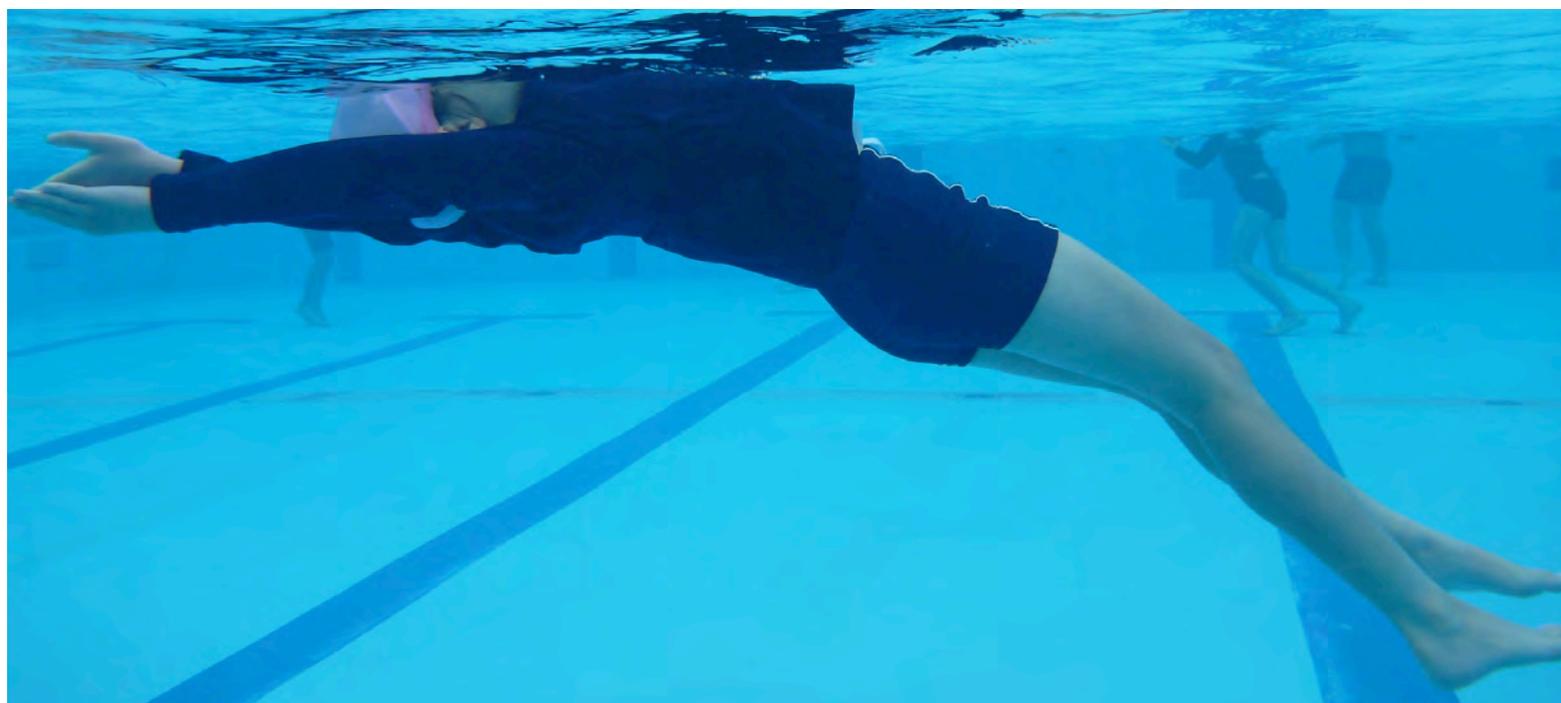
学校水泳研究会 2014

授業風景(背浮き補助)



学校水泳研究会 2014

授業風景(背浮き)



学校水泳研究会 2014

授業風景(浮漂5分)



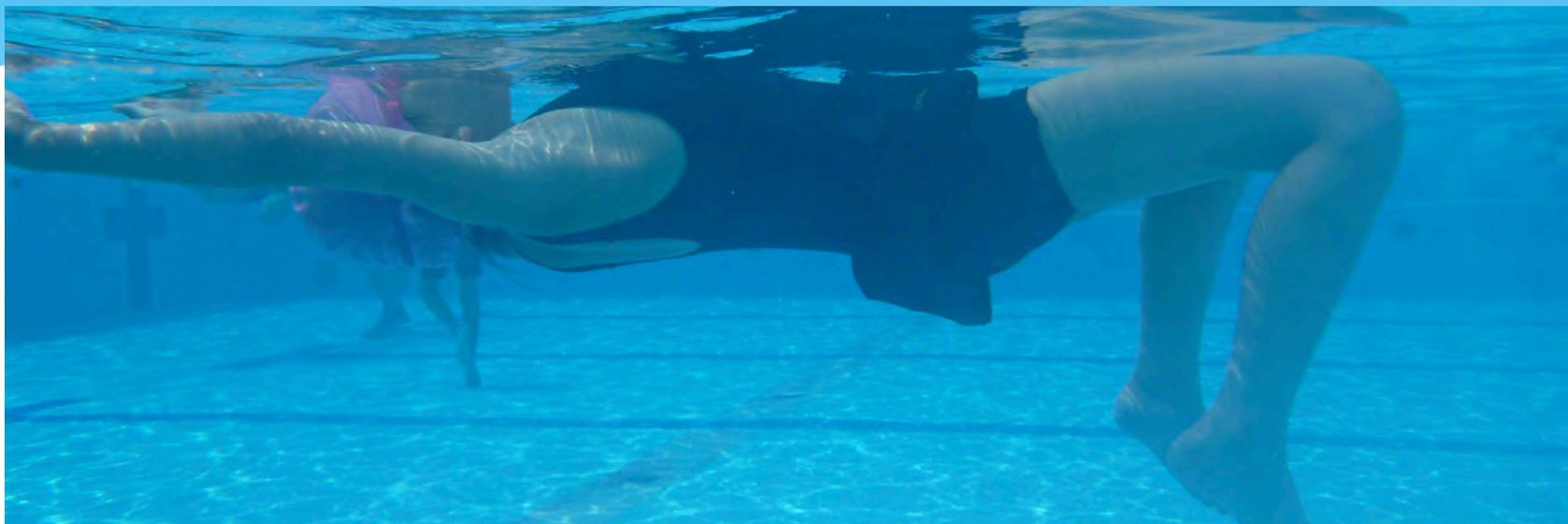
学校水泳研究会 2014

様々な浮漂の姿勢



学校水泳研究会 2014

様々な浮漂の姿勢



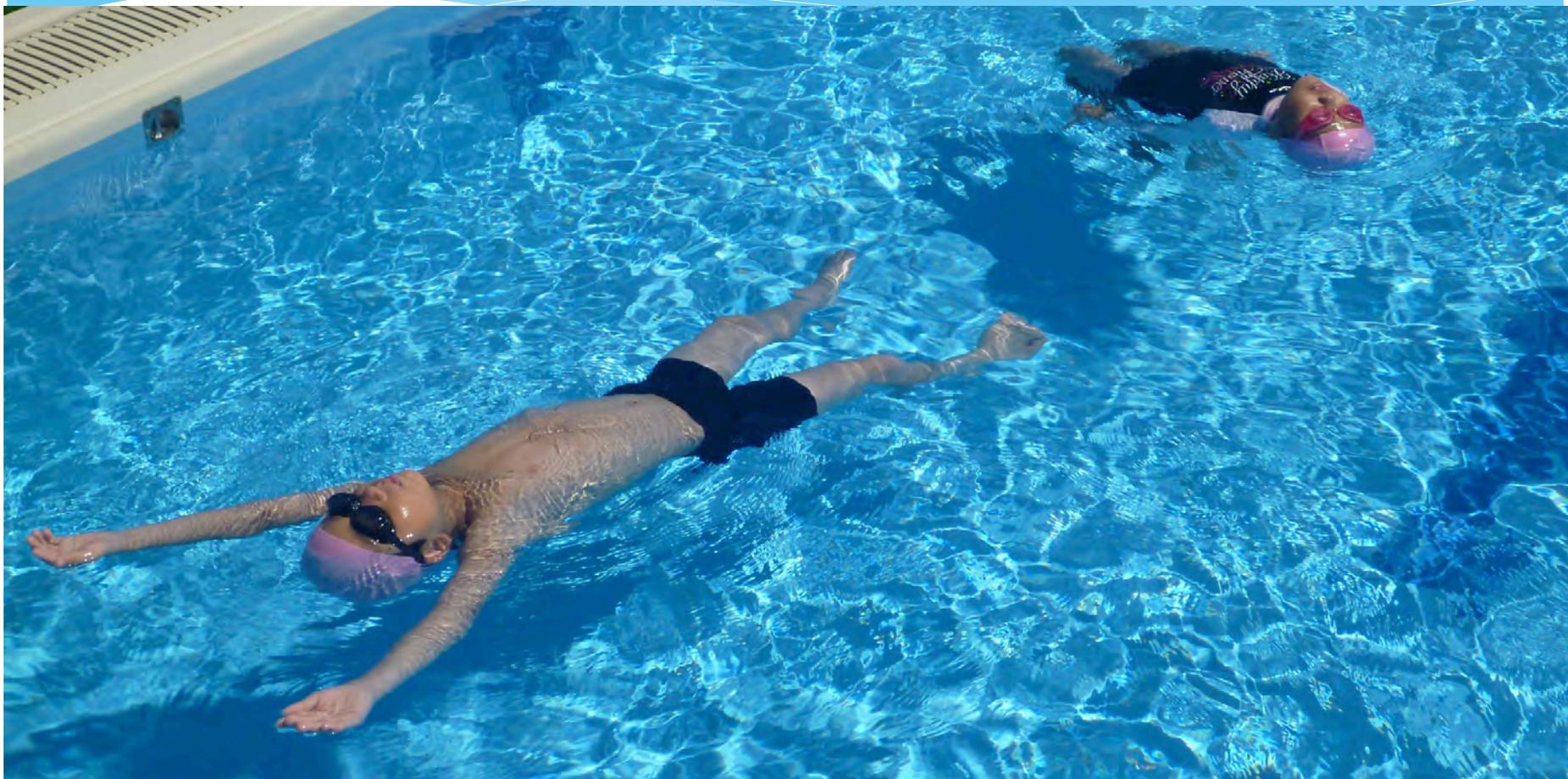
学校水泳研究会 2014

様々な浮漂の姿勢



学校水泳研究会 2014

様々な浮漂の姿勢



様々な浮漂の姿勢



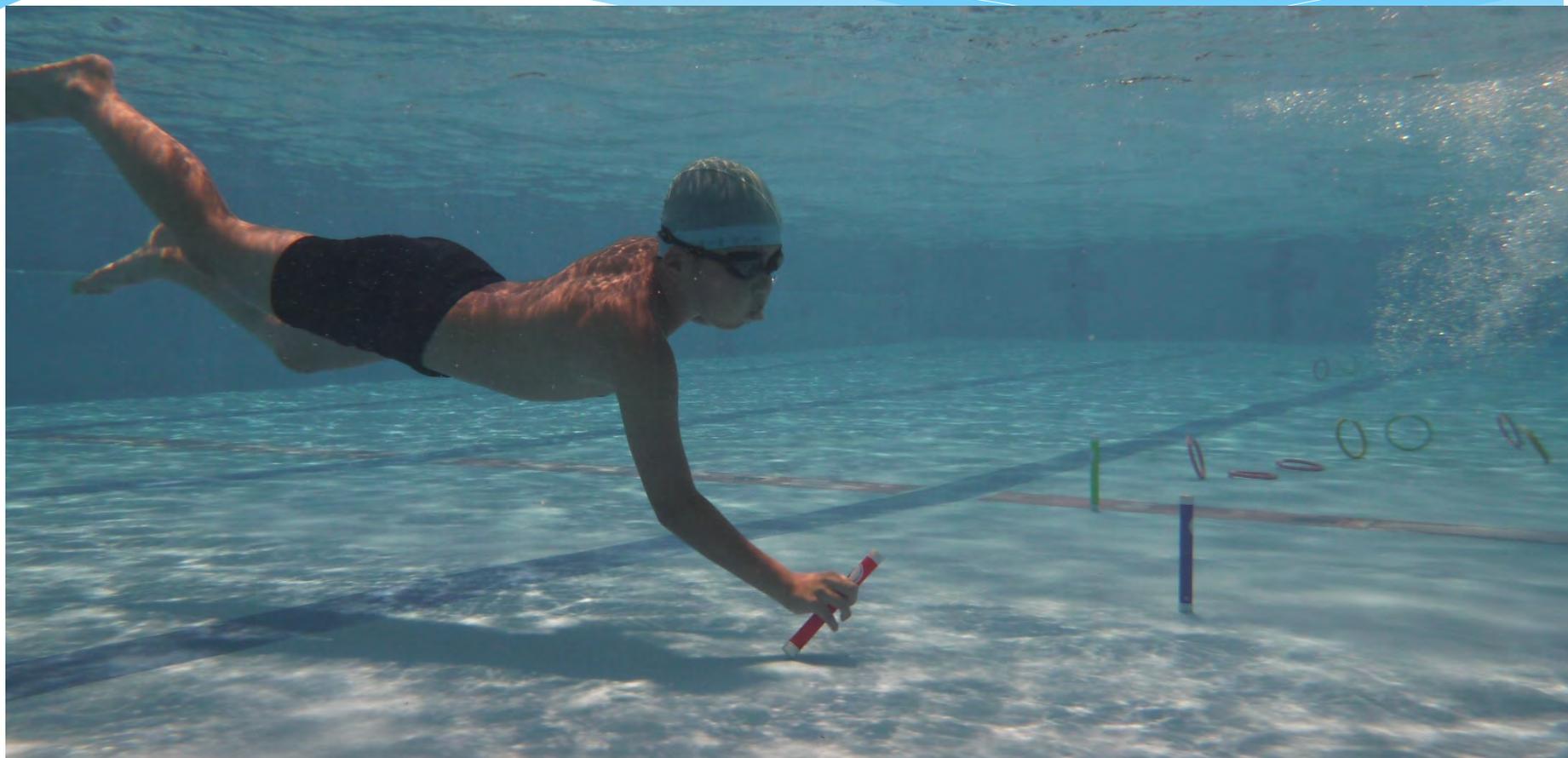
学校水泳研究会 2014

様々な浮漂の姿勢



学校水泳研究会 2014

沈んでいるものを泳ぎながら拾う



学校水泳研究会 2014

ものを持ったまま泳ぐ



学校水泳研究会 2014

隊列泳



ほんとうにおさえるべき内容は？

- * 何が必要な学習内容で、何が必要でないかを考えるのではなく、それぞれの順序性を考慮して指導にあたるべきである。

安全水泳 → 泳法獲得

- * 泳法の獲得を急ぐあまり、水慣れを含む安全水泳の内容をおろそかにしないこと。
- * 安全水泳とは、プールでのきまりにとどまるのではなく、足の届かない深いプールでも、呼吸を確保し、自分の命を守れる力を身に付ける内容のこと。

小学校高学年，中学校での泳法獲得に向けて，水中で安心して活動できるような力をつけるための，1年生からの系統性のある**具体的な指導内容の盛り込まれた**水泳プログラムの考案が必要である。